

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	2,806	26.7	372	239.2	382	208.0	225	182.7
26年6月期第1四半期	2,214	8.9	109	—	124	—	79	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 235百万円 (191.9%) 26年6月期第1四半期 80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	79.39	—
26年6月期第1四半期	28.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	7,726	5,674	70.9	1,926.19
26年6月期	7,177	5,382	74.0	1,866.97

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 5,481百万円 26年6月期 5,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※26年6月期の期末配当金には、8円の記念配当が含まれております。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,664	17.0	794	62.5	805	56.9	523	69.2	183.77
通期	10,000	2.1	870	△6.7	900	△9.3	585	△2.2	205.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ムーバブルトレードネットワー
クス、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期1Q	3,000,000 株	26年6月期	3,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期1Q	154,130 株	26年6月期	154,104 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期1Q	2,845,873 株	26年6月期1Q	2,845,998 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税の反動減に加え、夏季の天候不順を受けて、一時的に消費の低迷がみられたものの、消費増税に備えた経済対策等が功を奏し、そのことが景気の下支えとなりました。また、企業収益の改善や個人消費マインドの持ち直しにより、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、先進国の景気低迷や新興国の経済成長の鈍化等の海外景気の下振れリスクによる懸念材料を残しており、わが国においても、世界経済の動向に加え、労働力人口の減少をはじめとした潜在的な成長力の低下等による景気の悪化・低迷などのリスクを有しており、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。建設業界におきましては、引き続き復興関連予算の執行及び国土強靱化への取組等の政府の各種経済政策により、公共工事請負金額の増加や受注環境の好調へとつながるなど、景気の下支えとなりました。また、2020年開催の東京五輪へ向けた動きや道路・建物等の老朽化による延命・補修のニーズ等により、今後も公共工事のみならず民間工事についても需要増加が見込まれております。しかし、引き続き建設コスト・人件費の上昇や人手不足等の問題が深刻であり、それらの理由による工期の遅れが想定外の収益悪化につながるなど、依然として厳しい経営環境にあるといえます。

このような状況下で、当社グループ全体の売上高は2,806百万円（前年同期比26.7%増）となり、営業利益は372百万円（前年同期比239.2%増）、経常利益は382百万円（前年同期比208.0%増）、四半期純利益は225百万円（前年同期比182.7%増）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）に減少し、第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に増加する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針ではありますが、当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、発電所改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は2,493百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等の新規顧客の開拓、またサービスの強化に努めてまいりました。その結果、完成工事高は53百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、リユース・リサイクル事業の重要性が増したことから、従来よりセグメント開示上、「その他」として記載しておりましたリユース事業につきまして、当期から新たに「リユース・リサイクル事業」とし、報告セグメントとして開示することといたしました。

リユース・リサイクル事業につきましては、新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、売上高は260百万円（前年同期は7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、株式会社ムーバブルトレードネットワークスが当第1四半期連結会計期間より、連結子会社となったため、売掛金及び商品が増加、また受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ549百万円増加し、7,726百万円となりました。

負債につきましては、株式会社ムーバブルトレードネットワークスが当第1四半期連結会計期間より、連結子会社となったため、買掛金及び借入金が増加、また工事未払金及び賞与引当金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ256百万円増加し、2,052百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、5,674百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境の影響を受け、第1四半期連結累計期間の業績予想に差異が生じる結果となりました。これにより、平成26年8月12日付で発表いたしました「平成26年6月期決算短信」における平成27年6月期の第2四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成26年12月31日）の業績予想について、修正を行っております。

詳細については、平成26年11月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,516,639	2,273,176
受取手形・完成工事未収入金	1,643,913	1,978,050
売掛金	4,275	98,262
未成工事支出金	132,497	175,446
商品	—	121,374
材料貯蔵品	65,867	77,839
繰延税金資産	47,315	47,315
その他	102,809	101,266
貸倒引当金	△5,137	△7,245
流動資産合計	4,508,181	4,865,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	650,319	663,464
減価償却累計額	△229,568	△239,512
建物及び構築物(純額)	420,750	423,952
機械装置及び運搬具	2,097,114	2,202,673
減価償却累計額	△1,693,474	△1,732,686
機械装置及び運搬具(純額)	403,640	469,986
工具、器具及び備品	85,562	85,994
減価償却累計額	△68,521	△70,140
工具、器具及び備品(純額)	17,041	15,853
土地	1,318,012	1,318,668
有形固定資産合計	2,159,444	2,228,461
無形固定資産		
のれん	209	87,624
その他	15,522	15,436
無形固定資産合計	15,731	103,060
投資その他の資産		
投資有価証券	160,174	174,375
繰延税金資産	155,208	155,208
その他	200,343	224,697
貸倒引当金	△21,627	△24,490
投資その他の資産合計	494,097	529,791
固定資産合計	2,669,273	2,861,313
資産合計	7,177,455	7,726,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	390,726	476,727
買掛金	1,771	74,944
1年内返済予定の長期借入金	8,328	39,336
未払法人税等	297,195	166,477
賞与引当金	34,915	145,068
その他	617,817	546,604
流動負債合計	1,350,753	1,449,157
固定負債		
長期借入金	53,841	145,583
役員退職慰労引当金	75,674	143,455
退職給付に係る負債	310,433	309,215
資産除去債務	4,699	4,716
固定負債合計	444,649	602,972
負債合計	1,795,403	2,052,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	4,499,960	4,668,495
自己株式	△122,155	△122,205
株主資本合計	5,313,204	5,481,690
少数株主持分	68,847	192,978
純資産合計	5,382,051	5,674,668
負債純資産合計	7,177,455	7,726,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,206,595	2,546,715
商品売上高	7,947	259,537
売上高合計	2,214,543	2,806,253
売上原価		
完成工事原価	1,610,457	1,689,963
商品売上原価	6,215	145,004
売上原価合計	1,616,673	1,834,967
売上総利益		
完成工事総利益	596,137	856,752
商品売上総利益	1,731	114,533
売上総利益合計	597,869	971,285
販売費及び一般管理費	488,041	598,755
営業利益	109,828	372,529
営業外収益		
受取利息	77	197
受取保険金	11	5,507
受取家賃	4,598	—
持分法による投資利益	7,028	—
雑収入	5,684	7,273
営業外収益合計	17,399	12,977
営業外費用		
支払利息	122	414
支払手数料	—	1,407
売上債権売却損	9	133
不動産賃貸原価	2,779	—
持分法による投資損失	—	798
雑損失	194	466
営業外費用合計	3,105	3,220
経常利益	124,122	382,286
特別利益		
固定資産売却益	130	445
特別利益合計	130	445
特別損失		
固定資産売却損	84	105
固定資産除却損	152	51
特別損失合計	237	157
税金等調整前四半期純利益	124,015	382,574
法人税等	43,369	147,167
少数株主損益調整前四半期純利益	80,645	235,406
少数株主利益	739	9,473
四半期純利益	79,906	225,933

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,645	235,406
四半期包括利益	80,645	235,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,906	225,933
少数株主に係る四半期包括利益	739	9,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	リユース・ リサイクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,384	38,210	7,947	2,214,543	2,214,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,168,384	38,210	7,947	2,214,543	2,214,543
セグメント利益又は損失(△)	275,880	△1,802	△3,944	270,133	270,133

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,133
全社費用(注)	△160,645
セグメント間取引消去	340
四半期連結損益計算書の営業利益	109,828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	リユース・ リサイクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,493,704	53,011	259,537	2,806,253	2,806,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,414	1,414	1,414
計	2,493,704	53,011	260,952	2,807,667	2,807,667
セグメント利益	498,771	1,595	8,134	508,501	508,501

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「リユース・リサイクル事業」において755,875千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	508,501
全社費用(注)	△141,885
セグメント間取引消去	5,913
四半期連結損益計算書の営業利益	372,529

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、リユース・リサイクル事業の重要性が増したことから、従来よりセグメント開示上、「その他」として記載しておりましたリユース事業につきまして、当期から新たに「リユース・リサイクル事業」とし、報告セグメントとして開示することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ムーバブルトレードネットワークスを連結子会社としたことにより、「リユース・リサイクル事業」において、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては92,125千円であります。